

**ご当地自慢**

熱田の杜のご案内

63

名古屋事務所

名古屋市のほぼ中央に熱田神宮があります。境内には、本宮、別宮など四三社が祀られ、その面積は約一九畝あり都会の中のオアシスとなっています。

今回は、お宮とは別に境内の見どころについてご紹介いたします。

**■信長堀**

織田信長が桶狭間出陣の際に、神宮に必勝祈願をして、戦勝のお礼として奉納されたものです。写真などではあまり長く見えませんが



二十五丁橋



信長堀

が、途中途切れてはいるものの約一二〇畝残っています。

**■二十五丁橋**

名古屋では最古の石橋といわれている橋です。板石が二十五枚並んでることから命名されたとのことです。

**■お清水**

湧き水の中にある苔むした石は享祿の古図（一五二九年頃）にも描かれていた楊貴妃の石塔の一部との説もあります。この水で肌を洗えば綺麗になるともいわれています。



お清水

さて、ここからは森林管理局らしく境内の樹木の情報をご紹介します。

**■大楠**

手水舎近くにあり、弘法大師のお手植えと伝えられています。幹周り七・七メートル、



大楠

樹高二〇メートル、樹齢は千年以上といわれています。

**■クスノキ**

名古屋市の保存樹に指定されているクスノキです。「こころの小径」沿いにあり、幹周り七・八二メートル、樹高が三三メートルの巨木です。



クスノキ

**■オガタマノキ**

こちらも市の保存樹です。日本神話では、天照大神が岩戸隠れをした際に天鈿女命がオガタマノキを手に踊ったと記されています。



オガタマノキ

**■ならずの梅**

毎年、二月には花を咲かせるのですが、一度も実をつけたことが

ないことから「不実梅（ならずのうめ）」と名付けられています。

**■神鶏**

神宮の境内にはニワトリが放し飼いにされています。ニワトリは神の使いとされていて、運が良ければ出会うことができます。



神鶏



ならずの梅

これからの暑い時期、参拝に合わせて都会のオアシスを散策されてはいかがでしょうか。



名古屋市宮地下鉄 名城線 神宮西駅、JR熱田駅、名鉄神宮前駅 近く。